

長崎港湾の活性化

問 「長崎―釜山国際定期コンテナ航路」埠頭として利用されている小ヶ倉柳埠頭の役割は、コンテナ航路の他に、11月から就航する上海航路など、これまで以上の物流が期待されている。今後、商業貿易港として重要な役割を担っている同埠頭の活性化についてどのように考えているか。

答 長崎港の物流を考える際、小ヶ倉柳埠頭の活性化は最重要項目と認識している。長崎港の港湾管理者である長崎県に対して港湾整備の働きかけを行うとともに、物流業界などと一体となり集荷活動やポートセールスを積極的にを行い、荷を増やし活性化につなげていきたい。



矢上大橋社会実験の現状と今後の対応

問 今年8月から実施されている早朝・夜間の無料化社会実験について、開始前後の交通量調査の結果と、実験終了後の早期無料化へ向けた市の対応について示していただきたい。

答 実験開始前と開始直後の早朝の交通量で比較すると、国道25号の東町交口交差点は2.2倍の増加で、車両の有料道路へのシフトが推測される。今後は1か月後、3か月後の調査や利用者のアンケート調査を踏まえ、無料化の効果を検証し、早期の実現に向けて、引き続き県や関係市との協議に積極的に取り組むたい。



無料化社会実験中の矢上大橋料金所

防災行政無線が聞こえない地域への対応

問 市は、防災行政無線が聞こえない地域への対策として、無線の増設、スピーカーの高さや向き調整等を行っているが、これだけで解決するのは、地形的な問題や住宅の密封度等で無理があると思うが、これまで以上の抜本的な改善策を考えていないのか。

答 防災行政無線の増設後も、地形等の関係から音が届かない地域には、増設後の状況を適切に把握したうえで、防災ラジオを配布することにより対応していきたい。また、補完する手段として、登録者のパソコンや携帯電話へのメール配信、テレホンガイドなどのシステムを導入するとともに、今年度はエリアメールを導入するなどの対策を講じている。



防災ラジオ

長崎のランドデザイン

問 県庁舎及び市庁舎建て替え、長崎駅周辺再整備事業などの各大型事業が個別ばらばらに動いているように感じる。長崎をどのようなまちにしたいという、市民がイメージできるランドデザインが必要ではないか。

答 本市の将来像を市民の皆様にわかりやすくお示しすることは、まちに対する理解を深め、より良いまちづくりにつなげていくものと考えている。より具体的な将来の都市の姿について今後も検討を進めるとともに、あらゆる機会を捉え、市民に理解を深めていただけるよう努めていきたい。

明政・自由クラブ

市町村建設計画における琴海地区の道路・橋梁・公園関係の早期着手

問 市道琴海戸根町2号の改良と橋梁の改修工事の早期着手の見通し、また、琴海浜公園の整備計画の現状について伺いたい。

答 同路線は、崎山橋の幅員が狭く、橋への歩道の添架が構造的に困難なため、その整備には至っていない。今後、施工中の他の路線の整備状況、地域住民の意見、市町村建設計画策定後の状況変化等を考慮しながら、検討していきたい。海浜公園については、周辺の環境整備が進んでいることから、公園としての整備の必要性を含め、高潮対策と併せて、現在、庁内関係課で協議を行っている。



琴海戸根町2号に架かる崎山橋